

浜の応援団プロフィール		連携 協力 分野	<input type="checkbox"/> 養殖業 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> 養殖業以外 <input checked="" type="checkbox"/> 観光・交流・地域活性 <input type="checkbox"/> 加工 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 流通 <input type="checkbox"/> 小売り	
応援団になっていただける方のお名前又は団体名	ふりがな		とみたひろし	
	富田宏			
略歴又は活動内容	株式会社漁村計画研究所代表取締役を経て、株式会社漁村計画代表。1級建築士、技術士(水産土木)。長年、全国の漁村における住民参加の集落環境計画、地域振興計画に携わりながら、早稲田大学理工学研究所招聘研究員、内閣府地域活性化伝道師、総務省地域人材ネット外部専門家など社会活動にも積極的に関わる。近年は、地域資源を活用した漁村型コミュニティビジネスによる産業振興による中小漁村の活性化、東日本大震災を契機とした漁村防災・減災計画に注力している。			
ご住所	<input type="checkbox"/> (公開) <input checked="" type="checkbox"/> (非公開)	〒		
関連ホームページ等	https://www.facebook.com/tomita.gyoson?ref=tn_tnmn			
生年月日又は 設立年月日等	<input checked="" type="checkbox"/> (公開) <input type="checkbox"/> (非公開)	1955/10/22		
水産業との連携・協力の実績について	<p>国交省地域振興アドバイザー派遣(徳島県旧由岐町、石川県珠洲市、愛媛県宇和島市など)。特に、旧由岐町(現美波町)とは、その後、山がち急峻な地形のため不連続散在立地する個別漁村の活性化に向けての個々の処方箋づくりに、町役場職員とともに取り組む。</p> <p>また、太地町とは、鯨体処理場の基本計画業務を通じて、地域との付き合いが深まり、継続的な地域づくりの相談を受け、町長を先頭にした、くじらの海構想の実現に向けた基本構想、計画を経て、より具体的な活動、実施の段階のマスタープランナーとして今後もお付き合いしていきたいと思っている。</p> <p>一方、東北被災地漁村にあっては、漁業集落防災機能強化事業の申請に関する作業支援を継続中であるが、事業着工が復興まちづくりのスタートと考えている。</p>			
浜の応援団として連携・協力したい内容について	<p>これまで、おつきあいのある太地町、美波町はじめ自治体の要請に応じた、計画の実現に向けた具体的支援(事業化、ソフト構築のための住民など関係者の意識啓発や組織づくりなど)活動。</p> <p>被災地漁村における漁業集落防災機能強化事業採択後に初めてスタートする本当の復興まちづくりの支援(岩手県山田町、岩手県岩泉町、宮城県南三陸町など)。</p>			
連携・協力の活動エリア	活動 エリア	全国	具体的な 活動エリア	和歌山県太地町 福井県高浜町 岩手県岩泉町、山田町他
その他				
ご連絡先	tomita.gyoson[アットマーク]nifty.com			
	TEL:	090-7015-8075	FAX:	03-6413-1444
ご連絡方法	<input checked="" type="checkbox"/> E-Mail		<input type="checkbox"/> TEL <input checked="" type="checkbox"/> FAX	
団体等の場合は、以下についてもご記入下さい。				
ご担当部署名				
ご担当者名	ふりがな			

※メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。